

受験番号	
------	--

日本赤十字秋田看護大学大学院
看護学研究科看護学専攻修士課程

令和6年度 II期 入学試験問題及び解答用紙

〔科目試験〕

健康療養生活支援看護学分野（地域共生看護学領域）

【注意事項】

- 1 制限時間は60分です。
- 2 試験問題及び解答用紙は、表紙を含めて全部で3枚あります。
- 3 受験番号は、この表紙に記載してください。
- 4 質問があるときは、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 試験問題及び解答用紙を持ち帰ってはいけません。

問 1：次の（ ）にあてはまる語句・数字を書きなさい。

1. 高齢化の進展に伴い、（ 要介護 ）高齢者の増加、介護期間の長期化など、（ 介護 ）ニーズはますます増大している。一方、核家族化の進行、介護する家族の高齢化など、要介護高齢者を支えてきた（ 家族 ）をめぐる状況も変化しているおり、従来の老人福祉・老人医療制度による対応には限界があり、高齢者の介護を社会全体で支え合う仕組みとして、（ 介護保険制度 ）が 2000 年にスタートした。この制度は、（ 自立 ）支援を理念としており、利用者の（ 主体性 ）を強調した制度である。従ってすべてのサービス提供が、利用者と事業者の（ 契約 ）に基づいて行われる。例えば、訪問看護で看護計画を立てても、それは利用者の（ 承諾 ）がないと実施されない。
2. 公衆衛生行政は、（ 日本国憲法 ）25 条の規定に基づいて、すべての国民の（ 健康 ）の保持増進を図るために、国や（ 地方自治体 ）によって行われている。
3. 社会保障とは、公衆衛生・社会福祉の向上により健康で文化的な最低限度の生活を保障するものであり、社会保険、（ 公的 ）扶助、公衆衛生、（ 社会 ）福祉の 4 つの柱から構成されている。
4. ソーシャル・キャピタルとは、アメリカの政治学者、ロバート・パットナムの定義によると人々の協調行動を（ 活発 ）にすることにより、社会の効率性を高めることができる、「信頼」「規範」「（ ネットワーク ）」といった社会組織の特徴を指す。

問 2：保健事業の評価は、「企画評価」、「実施評価」、「結果評価」の 3 側面から実施されます。各評価について具体例を挙げて説明しなさい。

評価視点	回答欄
企画評価	・事業の目的、目標設定ができているか、 <u>それに向けた過程や活動状況</u> の評価。 以下の点について妥当だったかを評価する。 ・具体例：プログラム企画/構成（ニーズに即していたか、研修日程は対象者にあっていたか、講師選定、PR 方法、機材や人材の確保、投入された資源）など
実施評価	・保健事業を <u>実施するための仕組みや体制が適切であったか</u> の評価。 ・具体例：研修の回数、参加者数、参加者の満足度、資料や使用機材に対する反応事業の実施に係る予算、他機関との連携体制、社会資源の活用状況など
結果評価	・事業の目的・目標の <u>達成度</u> 、また、 <u>成果の数値目標に対する評価</u> 。 ・具体例：肥満度や血液検査などの <u>健診結果の変化</u> 、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備軍、死亡率、要介護率、医療費 の変化など

問 3 : A さんは、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準ランク I で、要支援 2 である。A さんから地域包括支援センターの保健師に連絡がきて、「来月から老人ホームに入ることが決まったと息子に言われたが、自宅にいたい」と相談された。

1) 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準ランク I および要介護 2 について、どのような状態か説明しなさい。

■ 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準ランク I :

何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内および社会的にほぼ自立している。

■ 要介護 2 :

日常生活全般において、見守りや手助けを必要とする。例えば、食事、排せつ、入浴のとき、身だしなみを整えるとき、掃除をするときに、見守りや手助けを必要とする状態を指す。また、身体機能の低下によって、立つとき、姿勢を保つとき、歩くときなどに支えを必要とします。理解力の低下が見られる。

2) あなたは A さんに対しどのような対応をしますか。

・自宅にいたいという本人の思いを受け止め、傾聴する。

・A さん家族が一方的に話を進めていることを踏まえ、今後の A さんの生活について本人の意思と家族の考えについて話し合う場を設け、家族間調整を行う。

問 4 : 国は、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を目指しています。今後、認知症高齢者の増加が見込まれており、認知症高齢者を地域で生活を支えるためには、多職種の連携が必要とされています。

なぜ多職種の連携が必要とされるのか、また、多職種連携を推進するにあたり看護職としてどのような役割があるか、あなたの考えを書きなさい。

○認知症高齢者を地域で支えるために多職種連携を必要とする理由について記載されている。

○多職種連携を推進するにあたり看護職としてどのような役割があるか記載されている。